おやこであそぼう
～　絵本と、わらべうたの時間　～

2016年 10月19日

☆今日の絵本・紙芝居

ねんね（アリス館）文：さえぐさひろこ
ペンギンたいそう（福音館書店）作・絵：齋藤槙
しきぶとんとうさんとかけぶとんかあさんとまくらちゃんのいちにち
（童心社）作・絵：とよたかずひこ（紙芝居）

☆紹介絵本

いいおかお／ おしり／おおきくなったよ さるのあかちゃん
（アリス館）文：さえぐさひろこ
おやすみペンギン（フレーベル館）作・絵：浅沼とおる
かぞえてみよう（白泉社）作・絵：さかざきちはる
おふとんかけて！（BL出版） 作・絵：D・ハコエン&S・シャーシュミット
おふとん かけたら（ブロンズ新社） 作・絵：かがくいひろし
あけて・あけてえほん おしいれ（偕成社） 作・絵：新井洋行

☆わらべうた・童謡

♫夕焼け小焼け

夕焼け小焼けで　日が暮れて
山のお寺の　鐘が鳴る
お手々　つないで　みなかえろう
からすといっしょに　かえりましょ

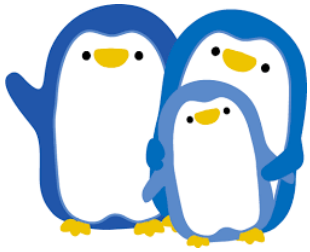
♫げんこつ山のたぬきさん

げんこつやまの　たぬきさん
おっぱいのんで　ねんねして
だっこして　おんぶして
またあした

子どもがかえった　あとからは
まあるい大きな　お月さま
小鳥が夢を　見るころは
空にはきらきら　金の星

☆こころとからだのおはなし（９月のお話　新約聖書マタイによる福音書２章13～15）

　ベツレヘムで生まれたイエスさま。それはヘロデ王の時代でした。占星術の学者たちが贈り物を持って、東方からイエスさまを拝みにやってきます。それを聞いたヘロデ王は、不安になり、２歳以下の男の子を一人残らず殺すよう命令します。



　その前に、天使が父親であるヨセフのところに現れ、「起きて、子どもとその母親を連れて、エジプトに逃げなさい」と告げていたのです。

　シスター勝が見せてくれた絵は、まさにエジプトへと逃げる親子３人の姿です。でも、親子３人の表情は、穏やかで、とてもにこやかです。幼子であるイエスさまは、お父さんヨセフとお母さんマリアの、当たり前の、そして確固たる愛に守られて、なんの不安も感じることはなかったのでしょう。

　子どもは成長の過程で、親子関係はもちろん、学校、友人、職場と、様々な人間関係と向き合い、対処していかなければなりません。一人の社会人として自立もし、主張もしながら、相対する人と互いに尊重し合い、思いやりを持って接することができるように。

　その一歩は、生まれてすぐ出会う一番小さな社会「家族」の中にあるのではないでしょうか？

愛されて成長し、やがて、今度は自分が、愛を育んだり、周囲の人を愛したり出来るようになっていきます。

　その一方で子どもは、自分がどうしたら、親に「褒めてもらえるか」「愛されるか」ということも知っています。

「テストで良い点を取ったら」「何かを我慢したら」良い子だと褒められ、愛されるだろうと、頑張ってしまうのです。

　シスターが見せてくれた絵の中のヨセフとマリアの笑顔は、ヘロデ王に追われ、エジプトに逃げるという困難の中でも、イエスに対する無償の愛で満ちているので、イエスさまの笑顔も穏やかなのでしょう。

　家庭という小さな社会が、いつも、心から信頼し合い、笑顔で満ちている場所であるといいですね。社会が多様化している今、お家での親の役割は、ますます難しくなってきていますが、頑張れ、お父さん、お母さん！と心から応援しています。

次回は11月16日（水）

お問い合わせ
クリスト・ロア修道会
TEL０４２（４６５）８６２０